

全席シートベルトの着用で安全運転を!

夏の交通安全県民運動が7月8日(火)から17日(木)まで行われ、交通安全協会の会員や交通安全指導員などが中心となって「子どもと高齢者の交通事故防止」「全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用の徹底」「飲酒運転の根絶」を運動の重点に、町内各所で広報車でのパレード巡回や街頭指導などを行い、交通安全を呼びかけました。

7月10日(木)には、国道9号線沿いの中山スノーステーションで八橋署管内統一街頭広報が行われました。交通安全関係者約30人のほか八橋警察署で職場体験学習をしていた中山、東伯、大栄の各中学校の生徒12人も参加して、ドライバー一人一人に「シートベルトは全席着用してください。事故のないよう安全運転を心がけてください」と呼びかけ、広報チラシなどを手渡しました。ドライバーもそれに答え「心を引き締めて、安全運転を心がけます」とハンドルを握りなおしていました。



交通安全を呼びかけ、広報チラシなどを手渡しました。ドライバーもそれに答え「心を引き締めて、安全運転を心がけます」とハンドルを握りなおしていました。

本画部門で、最も優れた作品に贈られる市展賞を受賞しました。受賞した作品の題名は「5月」。新芽の芽吹いた大山のブナ林の遊歩道を描いたもので、若葉と春のやわらかい光が表現されています。

韓国出身で、絵を始めたきっかけは高校1年生の文化祭。飾られた作品が先生の目にとまり、親の援助を受けて絵を学ぶことに。大学では4年間、韓国画を学び、卒業後ほどなく結婚して来日。現在小学6年生の長男をはじめとする3人のお子さんの母であり、県主催の韓国語講座の講師も務めます。また、近くの公民館では小学生を対象にした夏休みの絵画教室の講師もしています。

絵の題材は、常に生活の中で収集し、家族で山に登ったときなどピンと来たときに写真に収め、後日自宅のアトリエで描くという愛蘭さん。「日本画を描き始めて1年目の受賞で大変うれいす。今後皆さんに感動を与えることの出来る作品を描いていきたい」と今後の創作活動に意欲を見せています。



米子市展で市展賞を受賞 国野愛蘭さん(上野)

「1点でいいんです。自分の好きな画家を観に来る人がたくさんできればいいと思います」

大山町上野在住の国野愛蘭さんが、第48回米子市美術展覧会の日

私たちのまち(7月1日現在)

○人口: 18,869人(-39)
男: 8,970人(-20)
女: 9,899人(-19)
○世帯数: 5,910世帯(-7)

今月の税・保険料

納期限は
9月1日(月)

町県民税(2期分)

国民健康保険税(2期分)
介護保険料(普通徴収・2期分)
後期高齢者保険料(普通徴収・2期分)



大山町広報8月号 No.48

◆発行: 大山町役場
◆編集: 企画情報課

鳥取県西伯郡大山町御来屋328番地

TEL 0859-54-3111

FAX 0859-54-5216

大山町ホームページ

<http://www.daisen.jp/>

◆印刷: 有限会社米子プリント社

梅雨明け宣言とともに一気に広がった夏空。セミの鳴き声は日増しに数を増し、独唱からいつの間にか大合唱へ。そしていよいよオリンピックが開幕すると、ただでさえ暑い夏がますます暑くなりそうです。▼取材で行ったトライアスロン、これまた最高に暑い日でしたが、中山に設けられたエードステーションでは迫力と心温まる場面にたくさん出会いました。アスリートたちはアップダウンやカーブが続くコースをバイクで駆け抜けてきたあと、息を切らしながらもスタッフから手際よく飲み物などを受け取ると、必ず「ありがとう」などの感謝の言葉をはっきりと返し、また走り始めました。どちらが欠けても成り立たない大会。大会を支える数多くのスタッフの役割は大きいと感じました。

編集後記